

## 令和3年度（鎌倉高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行防止及び政治的中立の厳守	全職員に教育公務員であることの自覚を促し、法令順守を徹底し、服務規律の確保に努める。	朝の打合せで、不祥事に関する教育長通知、記者発表等について周知し、遵法意識の向上と共に、公務員としての自覚を高めた。9月には服務規律の遵守を再確認し、目標を達成した。
わいせつ、セクハラ行為等の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、セクハラ及び職場のハラスメント行為を未然に防止する。	8月に教員のわいせつ事案に関する職場討議を行い、グループごとに活発な意見を交わし、職員一人ひとりが自分にもかかわりがあることを認識した。1月にも映像資料を使って意見交換を行い理解を深めた。
体罰、不適切指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	9月の事故防止会議で啓発資料を用い、体罰は決して行ってはならない行為であることの理解を深めた。生徒との信頼関係の構築に努め、良好な人間関係を築くことを再確認し、目標を達成した。
会計事務等の適正執行	経理処理（公費・私費・現金管理）に関する事故の発生を未然に防止する。	私費会計マニュアルを全職員に配布し、10月の事故防止会議で具体的な事例をもとに研修を行った。財務事務調査の結果を職員で共有し、改善すべき点を修正した。
個人情報等管理・情報セキュリティ対策及び業務執行体制の確立	生徒の連絡先の適正な取得・管理を徹底するとともに、個人情報等の不適切な取り扱い及び流失を未然に防止し、文書の管理を徹底する。	10月の事故防止会議で啓発資料を用いて問題点を確認した。また、誤廃棄防止のため定期試験後にシュレッダー禁止期間を設定した。また、裏紙使用を原則禁止し個人情報の流出について、常に点検を行い、注意喚起を行った。さらに、教務手帳を所定のロッカーに入れて施錠し、適正な管理を行い、目標を達成した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止	酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	11月の事故防止会議で啓発を行い、飲酒しての運転は絶対に行ってはいけないことを改めて確認した。
調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故を未然に防止する。	7月の事故防止会議で意識を高め、前期の成績処理に臨んだ。教科での点検を徹底し、丁寧に処理にあたるよう心掛けた。他校の事故事例を全職員で共有し、どのポイントで事故が起こりやすいか確認した。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	指定校推薦等の資料作成・取扱いを厳正に行い、生徒に不利益が及ぶことのないよう事故を防ぐ。	キャリア支援グループと3学年で丁寧に連携し、点検を重ね、全職員にも協力を要請し一斉点検も実施し、常に複数の目で確認を行った。その結果調査書等発行に関する事故を起こすことなく年度を終えた。

### ○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

特に県全体の課題であったわいせつ、セクハラの防止について、職員との面談や職場討議の機会をとらえて校長から事例を挙げながら職員に具体的に考えさせるような指導を行った。次年度は個々の業務について手順やマニュアルの見直しを図り、効率的な業務促進とともに事故防止に取り組んでいく。